

京都市立病院消防出張所及び梅津救急隊の運用開始について

多様化する救急事故や増加する救急需要への対応をより一層強化するため、10月1日から、四条消防出張所を移転し、救急隊専用となる京都市立病院消防出張所を開所するとともに、右京消防署梅津消防出張所に市内31隊目となる救急隊を配置しますので、御報告いたします。

第1 京都市立病院消防出張所について

1 移転概要

四条消防出張所（中京区四条御前上る 京都市身体障害者リハビリセンター内）を京都市立病院敷地内東側（中京区五条御前上る）に移転し、救急隊専用の消防出張所として運用を開始します。（救急隊の呼称も「四条救急隊」から「壬生救急隊」に変更いたします。）

2 施設概要

耐火構造2階建て 延べ318.12㎡

1階：車庫、救急消毒室等 2階：事務所、待機室等

【施設の特徴】

外観は、屋根を勾配屋根とし、外壁は塗り壁をイメージした塗装及び一部を板張りとした他、格子風の建具を採用するなど京都の街並みになじむ意匠としています。

室内にも、床や天井に京都産材である「みやこ杉木」を使用し、環境に配慮した設備として、太陽光発電設備、太陽熱利用設備（温水）、熱交換換気設備を採用しています。

1階には、車椅子で使用可能な多目的トイレを設置しています。



京都市立病院消防出張所庁舎



3 配置車両等

(1) 高度救急救護車（大型救急車）の配置

通常の高規格救急車に加えて、高度救急救護車を配置し、集団救急事故が発生した場合に、早期に集団救急事故現場へ医師を派遣する体制を構築します。

(2) 救急救命士の研修体制の充実強化

更なる救急業務の高度化に対応するため、京都市立病院と連携して、救急救命士の新たな研修体制を構築します。

高度救急救護車



4 開所式

(1) 実施日時・場所

平成28年10月1日（土）午前11時から

京都市立病院消防出張所（中京区壬生東高田町1の2）

(2) 主な出席者

京都市長、市会正副議長、交通水道消防委員、中京区選出市会・府議会議員、京都市立病院院長、中京消防団長及び近隣分団長、近隣自治連合会長及び自主防災会長等

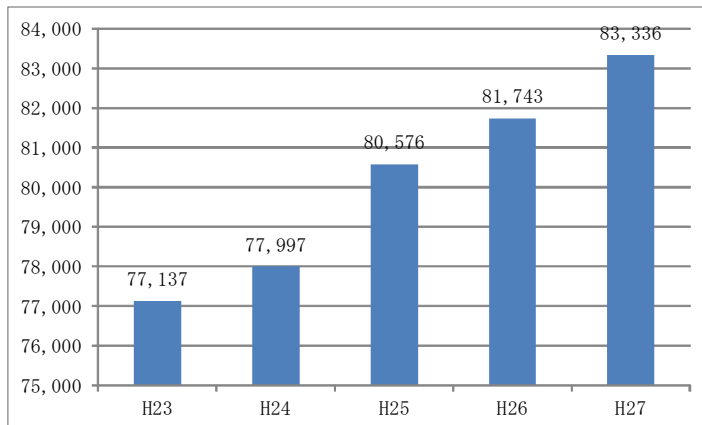
第2 梅津救急隊の増隊について

1 概要

本市の救急出動件数は、過去10年間で約1万件増加し、平成27年は、83,000件を超えました。消防局では、救急需要が増加する中、救急車の適正利用について広報するとともに、新消防指令システムの導入や救急隊を増隊することにより、全国平均の8分30秒台に対して、平均で6分30秒台の現場到着時間を維持してきました。

今後も高齢化の進展などにより、救急需要は更に増加すると予測されることから、梅津消防出張所に、市内31隊目となる救急隊を配置いたします。

【救急出動件数の推移】



【最近の救急隊の増隊状況】

年	救急隊名
平成24年	京都駅西救急隊
平成25年	寺町救急隊
平成26年	大塚救急隊

2 梅津救急隊増隊による効果

(1) 梅津消防出張所周辺の救急出動状況

市内で最も出動件数が多い四条救急隊の出動件数は、約4,300件(平成27年中)で、そのうちの約45%(約1,900件)が右京区へ出動しています。

また、近隣の右京救急隊の出動件数は、約3,700件(平成27年中4位)、西八条救急隊は、約3,500件(同5位)と多く、右京区管内で複数の救急事案が同時に発生すれば、現場到着の遅延が懸念されます。

(2) 効果

梅津消防出張所は、四条救急隊、右京救急隊及び西八条救急隊の配置署所の中間に位置していることから、それぞれの救急隊の出動エリアを相互に補完する位置関係となります。

【27年救急隊別出動件数(上位5隊)】

救急隊名	出動件数(件)
四条救急隊	4,308
伏見救急隊	3,802
北野救急隊	3,740
右京救急隊	3,702
西八条救急隊	3,557

【救急隊配置関係図】

